



## 誠実な活動

# コンプライアンスリスクに気づくためには

### 【研修について】

- ・本研修の目安時間は、15分間です。
- ・講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。  
(勝手に本資料を読み進めないでください。)

### 【本研修の目的】

- ・隣の人や、後ろの人と**意見交換をしながら**、学ぶことを  
目的としています。積極的に発言しましょう。

## 当資料のねらい

コンプライアンス違反を起こさないために、私たちは具体的なテーマで研修を受けたり、自学習を行ったりしています。しかし、起こり得るコンプライアンス違反のすべてを学ぶことはできません。

そこで、当資料では、様々なコンプライアンス違反の原因となりがちな行動や考え方と、その対処法について示しています。これらを学ぶことで、コンプライアンスリスクに敏感となることを目指してください。たとえ教わっていないリスクだったとしても、「このような行動・考え方は、コンプライアンス違反になりそうだ」と気づき、事前に回避できるようになっていきましょう。

コンプライアンスリスクに気づくためには

## CASE1:社内ルールについて知らないと?

Aさんは就業時間外で副業を始めることにしました。社内規定では、副業をする際には届出が必要とされていましたが、Aさんは知らなかつたため、届出をしませんでした。後日、副業をしていることが会社に発覚し、上司から「労務提供上の支障や企業秘密の漏えいがないかという点、労務管理の点から、届出は必要だ」と注意を受けました。

Q1

ルールを知らないことが原因のコンプライアンス違反を防ぐために、必要なことはなんでしょうか？



A

1

- ・ 知らないことがあるかもしれない、と謙虚・慎重に考えてから行動する
- ・ 安易に「多分大丈夫だろう」と考えず、周囲に確認したり、調べてみたりする
- ・ いつもと違うことや、新しいことを行う際には、定められたルールが無いかを確認する

コンプライアンスリスクに気づくためには

## CASE2: 良い結果を出したいと考えすぎると？

転職してきたばかりの営業のBさんは、新製品のセールスをしています。Bさんは少しでも多く売り、成果を出したいという誘惑に駆られ、客先で新製品について誇張したことを言ってしまいました。Bさんの言葉を信じたお客様は、製品を購入。しかし後日、聞いていた話と違うとクレームが入ってきました。



Q2

誘惑に負けることが原因のコンプライアンス違反を  
防ぐために、必要なことはなんでしょうか？

コンプライアンスリスクに気づくためには

A

2

- ・ 不誠実な行為や、不正は必ず発覚し、大きな代償を払うことになることを認識する
- ・ 不誠実な行為や、不正の結果を都合よく考えず、それらが発覚した後のことをよく考える
- ・ 誠実や信頼が、中長期的な利益に繋がることを理解する



業務を進める上では、コンプライアンス違反になるような様々な誘惑があります。それに負けないよう、強い意志を持ちましょう。

コンプライアンスリスクに気づくためには

## CASE3: 自分の常識で、職場の人と接していると？

上司のCさんは、新人とどのようにコミュニケーションをとるべきか思案しています。まずは、相手を詳しく知る必要があると考えたCさんは、いろいろと質問しているうちに、「恋人はいる？」 「両親の職業は？」 「休みの日は何しているの？」など、プライベートを詮索するようになっていました。それを見ていた部下から、「Cさん、それはハラスメントになってしまいますよ」と注意をされてしまいました。



Q3

自分の常識が原因のコンプライアンス違反を  
防ぐために、必要なことはなんでしょうか？

コンプライアンスリスクに気づくためには



- 自分の常識は、社会一般の考え方から外れている(もしくは時代遅れ)かもしれないと考える
- 相手の立場で、どう感じるかを意識した言動を考える
- 自分と他人の考え方には違うことを理解する



「自分は大丈夫、相手もコミュニケーションの一環と思ってくれているはず」と油断すると、踏み込みすぎて相手を傷つけてしまうことがあります。過信せず、自分の発言に問題ないかどうか、振り返ってみましょう。自分の発言に問題がないか、周りの意見を聞いてみるという姿勢も大切です。

## 【まとめ】

コンプライアンス違反を犯さないためには、次のことを意識することが重要です。

- ・ 「何かルールがあるかもしれない」「何か基準があるかもしれない」など、慎重になる
- ・ 不正の誘惑はどこにでもあるが、不正によって得られるものは悲惨な結果であることを知る
- ・ 自分の常識だけで判断せず、相手がどう感じるかを想像してコミュニケーションをとる

コンプライアンスリスクはあちこちに潜んでいます。  
意識して、リスクを未然に回避しましょう。

コンプライアンスリスクに気づくためには

会社と働く人たち、その家族を守るのは  
あなたのコンプライアンス行動です。

お疲れ様でした。